

第21回瀬戸内エコツアー
～アマモ場のいきものを観察しよう！～すき網体験 in 高根島～

実施日時：平成26年8月24日（日） 11:00～18:30

場 所：広島県竹原市忠海町～尾道市高根島

講 師：中田 雄三 氏・中田 佳子 氏（すき網体験指導者）

呼坂 達夫 氏（広島県環境アドバイザー）

参 加 者：38名（募集定員40名）

天 候：くもり

内 容：忠海港を出港しクルージングしながら生口島に着港。バスで高根島に移動し、集会所で島のみかんや生物についてオリエンテーション、ウミホタルの観察を行った。昼食後は護岸沿いで二ナ貝拾いをしながら大久保海岸に移動し、大久保海岸ではスナガニ掘り、伝統漁具すき網を使ってアマモ場の生き物を採集した。また、採集したテッポウエビやハオコゼは唐揚げにし、島で採れた海藻で作ったところてんやイギス豆腐など海の恵みをいただいた。

【実施風景】



開会式

環境省の自然保護官より開会の挨拶。
スタッフの紹介をして早速船に乗り込みます。



クルージング

生憎の天気で景色が震んでいましたが、ご存じのとおり8月の西日本の天気は雨ばかり！この日も本土側は大雨でしたが、島では雨は降らず穏やかなお天気でした。



オリエンテーション

講師の中田さんから高根島や今日見られるニナ貝の説明がありました。



高根島のレモン

瀬戸田レモンは減農薬で皮まで食べられます。まだシーズン前でレモンらしい形にはなっていません。青いレモンは果汁が少ないので香りが楽しめます。



テングサで作ったゼリー試食

中田さんがとこてんの原料になる海藻 テングサで寒天ゼリーを作ってくれました。ゼラチンで作ったゼリーとはひと味違う優しい味でした。



ウミホタルの観察

夜の暗い海で見られるウミホタルを観察しよう！ということで暗幕を張った個室でウミホタル観察を行いました。まずは体のしくみについて解説。



ウミホタルの発光実験

「わあ～！！きれい！」
何とも言えない青白い光に歓声があがりました。



生き物紹介

自分が知っている生き物の写真を一つ選んで皆さんに紹介！皆さん、生き物について詳しくて驚きました。



ニナ貝拾い

岩場や護岸にはニナ貝（つぶ貝）の住みかです。つまみにおやつにもってこいのニナ貝をペットボトルに拾い集めました。



スナガニ掘り

穴を見つけてはスナガニ掘りにチャレンジ！磯で見かけるカニとは違った目の大さなかわいいスナガニを捕まえました。



すき網について

島ではすき網を使って夜のご飯を採集していましたそうです。中田さんから昔ながらの伝統漁具の使い方を教わります。



すき網体験

いざすき網体験！

大人も子どもも胸の高さまで海に入ってアマモ場に潜んでいる生き物を捕まえます。



生き物採集

どんな生き物が網にかかったかな？
浜で網の中を探ります。



採集した生き物

左上から時計回りに、
タツノオトシゴ、モエビ、コウイカの赤ちゃん、ヨウジウオ、テッポウエビ、ワレカラ、ソバガラガニ、メリベウミウシ



生き物の解説

呼坂さんより捕まえたアマモ場の生き物について解説を聞きました。知ってる生き物もいれば、こんな生き物が瀬戸内海にいるんだ！というのも沢山いました。



ところてん突き

中田さんが作ってくださったところてんも自分たちで突いて食べました。海藻で作ったイギス豆腐は初めて食べた方が多かったです。



唐揚げ試食

すき網で捕まえたハオコゼやテッポウエビを唐揚げにしていただきました。自分たちで捕まえた海の恵みは一段と美味しいですね。あっという間に完食しました。



高根島の中田さんや地元の皆さんに船から手を振ってお別れしました。盛りだくさんの内容で、瀬戸内海の豊かな自然を五感を使って体験できた1日だったと思います。

